

境界線って何？

15日金曜日に、5・6年生を対象に福岡県性暴力対策アドバイザーの茨木さんをお招きして、性暴力防止についてのお話を聞かせてもらいました。デリケートなテーマではありますが、子どもたちに丁寧にお話をさせていただきました。

話の中心となったのは「境界線」ということです。人には身体的な境界線や物質的な境界線などが存在しています。境界線を誰かに越えられてしまうと、不快に感じたり苦痛を覚えたりするのだそうです。例えば、自分が楽しみにしていた冷蔵庫の中のプリンを家族の誰かが食べてしまった。ということも物質的な境界線を侵されたことになるそうです。境界線の一つとして性の境界線もあり、それを侵してしまうことが「性暴力」となってしまふとのことでした。

最後には、人がもっている境界線を侵すことなく、互いに認め合い・支え合い・助け合いながら生活できるようになってほしいというお話をいただきました。少し子どもたちには難しかったかなと感じながらも、こうした大切な話が、子どもたちの心に響いてくれていると嬉しいなと思います。

